

# 2012 根室のこの一年を振り返る



今年の根室市は、「総合計画基本施策の重点項目化と加速的な展開」を基本方針とした「産業活性化プラン」、「生活安心・安らぎプラン」、「みらいの活力創出プラン」の3つのプランからなる「根室再興政策プロジェクト」の着実な実施により、「根室の再興・再生」に向けての取り組みが確実に進んでいることを感じることができた年ではないでしょうか。

今年も残すところ1カ月となりましたが、さまざまな出来事があった、2012年をこのページで振り返ってみましょう。

## 【1月】

■全国さんま棒受け漁業協同組合が、昨年の最終水揚げ状況を発表し、花咲港が過去最高の7万8千トンと全国水揚げの37・8%を占める。

■玄葉光一郎外務大臣が北方領土視察のため根室を訪問し、納沙布岬と洋上からの視察を行った後、元島民や返還運動関係団体との懇談を行う。

■根室市と根室市観光協会が31日に昨年より13日早い流水初日を発表する。(流水接岸初日は2月13日に発表)

## 【2月】

■根室市アジア圏輸出促進協議会の経済ミッションが、ベトナムのハノイ市とホーチミン市で「根室さんま祭り」と題し、根室産さんま約600キログラムを提供して販売促進活動を行う。

■根室市が、災害時における緊急情報伝達手段の一つとしてNTTドコモが提供している「緊急速報エリアメール」の運用を開始する。

■「2012 北方領土の日根室管内住民大会」が総合文化会館で

開かれ、元島民をはじめ管内住民約1,000人が「島を返せ」と、こぶしを突き上げ、北方領土早期返還を叫ぶ。

■根室市と東海大学海洋学部の間で協力協定に基づく共同研究の一つであるエコツーリズムの研究開発のため、東海大学の学生が来根し、水待ち網漁などのエコツアー商品開発に向けたモニタリング調査を行う。

■根室市が災害時に自力避難に支障のある要援護者の避難支援を迅速、的確に行うため「根室市災害時要援護者避難支援計画」を策定する。

## 【3月】

■東日本大震災から1年を迎え、震災発生時刻に合わせて市内全域でサイレンが鳴り響き、市民が犠牲者の冥福を祈り、黙とうを捧げる。

■昨年11月に華小学校的の学芸会で発表された元島民の証言を基に脚本を作成した演劇「ふるさと〜四島を追われて〜」の上映会が、北方四島交流センターで行われる。

## 【4月】

■根室市と根室市観光協会が、3日に昨年より5日遅い「流水終日」を発表する。

■北方四島交流専用船「えとぴりか」のお披露目式が根室港で行われ、元島民や関係者らが出席し、船のお披露目を祝う。

■東日本大震災義援金として日本赤十字社根室市地区で受け入れた寄付が200件を超える。

## 【5月】

■東日本大震災で被災した漁船の救援策である「共同利用漁船等復旧支援対策事業」の適用を受け、全国第1号となった根室漁協所属「第2丸中丸」の竣工式が、花咲港で行われる。

■桂木町会が、町会として初の本格的な大津波を想定した避難訓練を行う。

■根室市と根室市観光協会が20日にチシマザクラの開花宣言を行い、3年ぶりに日本一遅い桜の開花となる。

■東海大学海洋学部の学生が、エコツアー商品開発に向けたモニタリング調査のため来根し、フィールド散策や水産加工などのプロ



2月 怒りの声を上げた「北方領土の日根室管内住民大会」



3月 東日本大震災の被災地に向けて黙とうを捧げる

■根室市アジア圏輸出促進協議会と、日本貿易振興機構北海道貿易情報センターが招へいたベトナム水産企業のバイヤーが来

■根室市と生活協同組合「コープさっぽろ」の間で「高齢者の地域見守り活動に関する協定」が結ばれる。

■納沙布岬に市内5カ所目となる野鳥観察舎「納沙布岬ハイド」がオープンする。

■根室市と根室市移住促進協議会主催の移住体験モニターツアーが行われ、首都圏から7人が参加し、水産や酪農などの基幹産業や北方領土問題などをテーマにした各種プログラムを体験する。

■第20回根室さんま祭りだが、2日間にわたって行われ、過去2番目の来場となる約2万9、200人の来場者でにぎわいを見せる。



8月 盛大に行われた「飯田三郎生誕百年記念音楽会」



5月 復旧支援対策事業適用第一号となった「第2丸中丸」



9月 本土最東端に設置された「納沙布岬ハイド」



9月 過去2番目の来場となった「根室さんま祭り」

■根室商工会議所が、管理団体となって受け入れたベトナム人技能実習生16人の研修開講式が、商工会館で行われる。

■北海道防災会議の地震専門委員会が、東日本大震災を受けて見直しを行っていた北海道太平洋沿岸の津波浸水予測図を公表し、市内では初田生河口の24・9メートルを最高に市内5地点で20メートルを超える高さの津波が予測

■根室商工会議所が、管理団体となって受け入れたベトナム人技能実習生16人の研修開講式が、商工会館で行われる。

■北海道防災会議の地震専門委員会が、東日本大震災を受けて見直しを行っていた北海道太平洋沿岸の津波浸水予測図を公表し、市内では初田生河口の24・9メートルを最高に市内5地点で20メートルを超える高さの津波が予測

■ロシアのメドヴェージェフ首相が北方四島の国後島を訪問したとの報道を受けて、長谷川市長をはじめ元島民や返還運動関係者が、官邸や外務省を訪れ「交渉の活性化」の要請を行う。

■災害時などにおける緊急情報伝達手段として、au・ソフトバンク提供による「緊急速報メール」の運用を開始する。

■納沙布岬灯台が、初点灯から今年で140周年を迎える。

■緑町の旧富樫靴店跡に常設の施設が落成する。

■根室市議会が、議会改革の一環として作業を進めてきた「ねむろ市議会だより」の第1号が発行される。

■北方領土返還要求根室市民大会が総合文化会館で開かれ、「返還運動原点の地」から痛みと怒りの声を上げる。

■飯田三郎生誕百年を記念した音

■根室市と防災関係機関が、根室半島南東沖を震源とする大地震と、それに伴う大津波を想定した根室市総合防災訓練を行う。

■根室市議会北方領土対策特別委員会と、北海道議会北方領土対策特別委員会が根室市役所で「第七期北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画骨子案」について意見交換を行う。

■根室市移住交流促進協議会主催の移住体験モニターツアーが行われ、首都圏から7人が参加し、水産や酪農などの基幹産業や北方領土問題などをテーマにした各種プログラムを体験する。

■第20回根室さんま祭りだが、2日間にわたって行われ、過去2番目の来場となる約2万9、200人の来場者でにぎわいを見せる。

■納沙布岬に市内5カ所目となる野鳥観察舎「納沙布岬ハイド」がオープンする。

■根室市と生活協同組合「コープさっぽろ」の間で「高齢者の地域見守り活動に関する協定」が結ばれる。

■根室市アジア圏輸出促進協議会と、日本貿易振興機構北海道貿易情報センターが招へいたベトナム水産企業のバイヤーが来

■根室市移住促進交流促進協議会が、大阪で開かれた「北海道暮らしフェア」で初のプロモーション活動を行う。

■海外からのバードウォッチャー誘致活動の一環として、根室市観光協会が「2012台北国際賞鳥博覧会」に初出展する。

■根室市移住促進交流促進協議会が、大阪で開かれた「北海道暮らしフェア」で初のプロモーション活動を行う。

■海外からのバードウォッチャー誘致活動の一環として、根室市観光協会が「2012台北国際賞鳥博覧会」に初出展する。

■樽床伸二内閣府特命大臣（沖縄及び北方対策）が、納沙布岬と北方四島交流専用船「えとびりか」による洋上から北方領土を視察後、元島民や返還運動関係団体との懇談を行う。

■根室市と根室浴場組合との間で「災害時における公衆浴場等の協力に関する協定」が結ばれる。

■花咲港町会連絡協議会が主催する初の本格的な大津波を想定した避難訓練を行う。

■樽床伸二内閣府特命大臣（沖縄及び北方対策）が、納沙布岬と北方四島交流専用船「えとびりか」による洋上から北方領土を視察後、元島民や返還運動関係団体との懇談を行う。

■根室市と根室浴場組合との間で「災害時における公衆浴場等の協力に関する協定」が結ばれる。

■花咲港町会連絡協議会が主催する初の本格的な大津波を想定した避難訓練を行う。